

防災特集

防災週間：8月30日(水)～9月5日(火)

防災の日：9月1日(金)

災害から身を守るために！

風水害(高潮)に備えよう

『天災は忘れた頃にやってくる』
 という言葉のとおり、災害はいつ私たちの身に降り掛かってくるかわかりません。その発生を未然に防ぐことはできませんが、日頃からの備えを万全にすることで、被害を最小限に食い止めることはできます。
 笠岡市では、昨年、一昨年と台風による多大な被害を受けました。



台風による高潮
 伏越港フェリー乗り場

特に、平成16年8月の台風16号は、満潮時と「大潮」とが重なったこともあり、わずか数時間の間に、一気に海水が押し寄せ、島地部や沿岸地域を中心に約千世帯で床上・床下浸水の被害を受けました。

笠岡市では、この台風被害を教訓として、高潮被害が予測される箇所に防潮壁の設置、堤防高の改良、排水口からの海水の逆流を防ぐ逆流防止弁の設置、市内各地域の自主防災組織の結成など、ハード・ソフト両面において災害に強いまちづくりを進めています。

最新の情報を入手しましょう

台風が近づいたときや、雨が降り続いたときには、最新の気象情報を収集しましょう。状況は、刻々と変化します。テレビ、ラジオや笠岡市の緊急情報メールなどで、常に新しい情報を入手することが大切です。

緊急情報メール

市では、災害等に関する情報をメールに配信しています。
 ○ 警報の発令及び解除に関する情報
 ○ 災害に関する情報
 ○ 災害時の交通情報
 ○ 笠岡市災害対策本部の設置及び解散に関する情報
 ○ 申込方法
 携帯電話メールで、gyoukaku-it@city.kasaoka.okayama.jp へ「緊急情報メール配信希望」と明記し、住所・氏名・携帯電話番号を送信してください。
 ○ 問合せ…革IT推進課
 ☎69-2166

非常時の情報伝達は

突発的な災害が発生したときには、被害の状況、ライフラインに関する情報、災害救助及び災害支援についての情報を、正確かつ迅速に、市民のみなさんにお知らせし、被害を最小限に抑えることが求められます。

笠岡市では、笠岡放送(株)及びエフエムゆめウェーブ(株)と、災害緊急放送の協定を結んでいます。非常時における迅速な情報の伝達を心がけ、市民生活の安定を図っていきます。

エフエムゆめウェーブの
 周波数は FM局
 79.2メガヘルツ

また、有線通信が利用できないときでも、市内の被災状況の収集及び伝達ができるよう、(社)日本アマチュ

ア無線連盟岡山県支部と協定を結び、いざというときに備えています。

早めの避難を心がけましょう

台風や集中豪雨による浸水は、一気に押し寄せてきます。避難の遅れは生命の危機につながります。少しでも異常を感じたときは、隣近所で声をかけあい、早め早めに行動することが大切です。

また、日頃から災害が発生した場合を想定して、家族会議の機会を持ち、災害があったときに、どこに避難するかなど、家族全員で確認しておくことも重要です。

《我が家の防災メモ》

家族の連絡先			
名前	電話(会社・学校)	名前	電話(会社・学校)
避難場所			
一時避難場所			
広域避難場所			
家族が離ればなれになったときの集合場所			
緊急連絡先			
連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
笠岡市役所	69-2111	中国電力(株)	0120-416270
消防本部	63-5119	水道課	63-5241
笠岡警察署	63-0110	病院	
ガス会社		NTT西日本	113(故障)